

# 松ヶ江南小だより

松ヶ江南小学校校長室

平成26年10月28日（特別号）  
文責 瀬藤 早苗

## 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

平成26年4月22日(火)に小学校6年生および中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査結果」については、すでに10月の学校だよりでもお知らせしたところです。  
今回、特別号として本校の結果について、さらに詳しい報告と今後の取組をお伝えいたします。  
なお、この調査結果が児童の学力のすべてというわけではなく、あくまで特定の一部分であることを申し添えておきます。

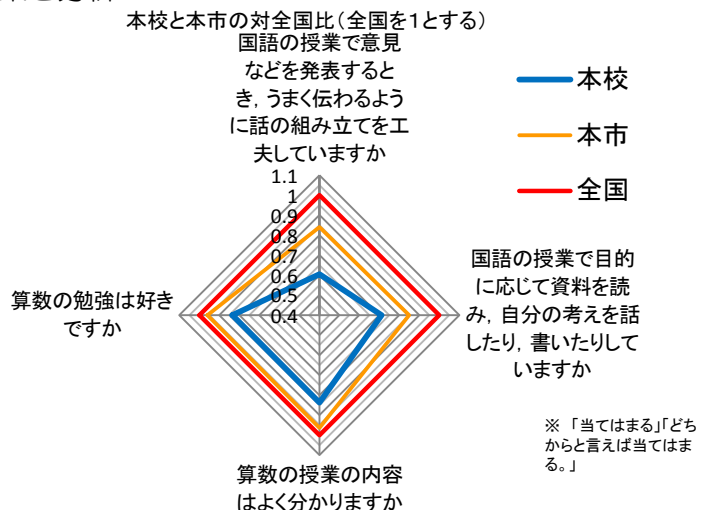
### 1. 教科に関する調査結果の概要

#### ① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均正答率を下回っていた。	○複数の事柄を並列の関係で書く問題については全国平均を上回っていた。 ○言語の知識理解に課題がある。特に、学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりする問題については、全国平均を下回っていた。
国語B	全国平均正答率を下回っていた。	○全国平均を下回っていたが、昨年度より上昇していた。 ○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える問題については、全国平均を上回っていた。 ○目次や索引を活用して本を効果的に読む問題については、全国平均を下回っていた。
数学A	全国平均正答率を下回っていた。	○全国平均を下回っていたが、昨年度より上昇していた。 ○図形に関する問題については、全国平均を上回っていた。 ○単位量当たりの大きさの求め方を答える問題では、全国平均を下回っていた。
数学B	全国平均正答率を下回っていた。	○全国平均を下回っている問題が多かったが、記述式問題においては、全国平均を上回っていた。 ○示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求める問題については、全国平均を上回っていた。 ○全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する問題では、全国平均を下回っていた。

#### ② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

右のグラフが示す通り、国語科に比べ算数科に対する児童の学習意欲の高さがうかがえる。  
しかし、算数科のこの結果も昨年度と比較すると下回っていた。  
児童の算数科に対する学習意欲を維持させながら、今後も「わかる算数」「できる算数」の指導法について研究していく。  
国語科においては、読書が好きという児童が増えている。今後、自分の好きな本を読むだけでなく、目的をもって読書をするように指導していく必要がある。また、文章構成の指導を行い、話す内容の組み立てができるようになっていく必要がある。

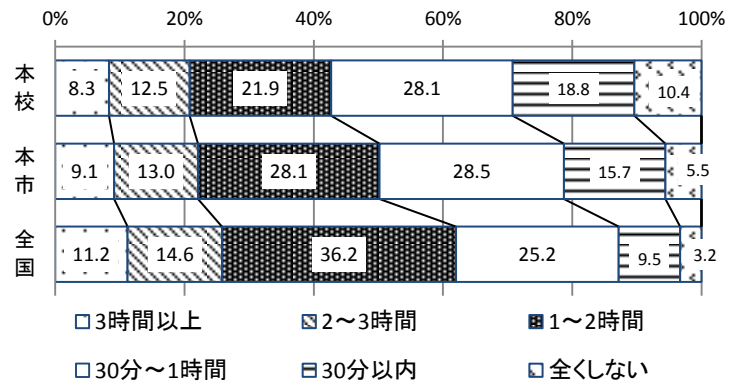


## 2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

### ① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)

右のグラフが示す通り、授業時間以外の学習時間が30分以内と回答した児童が本市や全国を上回っている。  
 しかし、家庭学習を全くしないという児童が10.4%もあり、家庭学習をする習慣が身に付いていない児童が多いことが分かる。  
 全校で家庭学習の時間のめやすを示したり、家庭学習の具体的な取り組み方をしっかり指導する必要がある。  
 また、保護者にも家庭学習の大切さを伝え協力をお願いする必要がある。



### ② 生活習慣等に関する調査結果と分析

- ・本校では、読書する習慣が身に付いている児童の割合が高かった。しかし、テレビ等に接触する時間が多いことも分かった。特に、3時間以上の長時間利用の割合が多い。
- ・最後までやり遂げてうれしかったと回答している児童が多かった。しかし、挑戦しようという気持ちになるまでが課題となっている。課題設定から振り返りの場面を意図的に仕組み、やればできるという自信を児童にもたせる指導が必要である。

## 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

### ① 教科に関する取組

「◎」は現在取り組んでいること 「○」は今後取り組むこと 「・」は事例

- ◎ 学力向上のための特設時間の実施
  - ・朝自習<松南タイム>で全校一斉に実施
  - ・特設時間(給食準備中の算数マスタータイム)の取組内容計画表作成(学力向上推進委員会・各学年)
  - ・国語科、算数科の過去問題、アシストシート、単元別プリント等の準備
  - ・小中連携サポーター…計画的な配置、活動補助、プリント整備
- ◎ 過去問題、アシストシート、活用力を高めるワークの活用
  - ・単元末に過去問題や活用ワークの問題を位置付け「力だめし」をする。
  - ・アシストシートを宿題とし、朝自習で答え合わせ、解説、やり直しを行う。
  - ・アシストシートと過去問を冊子にして、冬休み・春休みの「宿題帳」とする。
- 「言葉の学習」の取組
  - ・書くことへの抵抗感をなくす。
  - ・自分の考えをひとまとまりの文章(主張+理由)で書く習慣をつける。
  - ・自分の考えを広げ、深めるための思考法や交流の練習を行う。

### ② 家庭生活習慣等に関する取組

「◎」は現在取り組んでいること 「○」は今後取り組むこと 「・」は事例

- ◎ 宿題のスタンダード化(時間、学年別・教科別内容)
  - ・「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用
  - ・自主学習ノートの活用
  - ・家庭学習時間の設定
  - ・「家庭学習の約束」の作成・実施
  - ・家庭学習マイスター賞への応募
  - ・冬休み・春休みの宿題に、過去問題やアシストシートを活用
- ◎ 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知